

大館市教育委員会会議録

日 時 平成29年11月24日（金）
午後3時25分
場 所 大館市立中央公民館 第1研修室

大館市教育委員会

大館市教育委員会会議録

1 開会の日時 及び場所	日 時	平成29年11月24日（金） 午後3時25分		
	場 所	大館市立中央公民館 第1研修室		
2 出席委員の氏名（4名）				
教育長職務代理者	山 田 和 人	委 員	根 田 穂美子	
委 員	清 野 克 子	委 員	小笠原 正 卓	
3 欠席委員の氏名（なし）				
委 員				
4 委員以外の出席者職氏名				
	なし			
5 出席した職員の職氏名				
教 育 長	高 橋 善 之	学校教育課長補佐	小松原 功 秀	
教 育 次 長	佐々木 修	学校教育課長補佐	伊多波 卓 美	
教育総務課長	加 賀 安 長	生涯学習課長補佐	小 玉 均	
学校教育課長	山 本 多鶴子	中央公民館長	松 田 新 一	
教育研究所長	貝 森 逸 子	歴史文化課長補佐	大 井 和 博	
生涯学習課長	一 関 留美子	スポーツ振興課長補佐	佐 藤 税	
歴史文化課長	若 宮 司	生涯学習課生涯学習係長	佐 藤 正 平	
スポーツ振興課長	菅 原 悟	教育総務課総務係長	関 智 仁	
6 会議録署名委員 教育長・小笠原委員				
7 会 議 書 記 教育総務課 総務係長 関 智 仁				
8 教育長報告				
(1)	花岡小学校の第48回博報賞【教育活性化部門】受賞について			
(2)	第27回大館市生涯学習フェスティバルについて			
(3)				
(4)				
(5)				
(6)				
9 議 事				
協議第20号	大館市就業改善センターに関する条例の一部を改正する条例案			
協議第21号	大館市北地区コミュニティセンターの指定管理者の指定について			
協議第22号	平成29年度大館市一般会計補正予算（第7号）案			
10 その他				
(1)	東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致に向けたタイ王国訪問について			
(2)	ニプロハチ公ドームコンサートの開催に向けた進捗状況について			
(3)	10年の意識変化について			
(4)				
(5)				

議 事 の 経 過	
	開会 午後3時25分
教育長	ただ今より教育委員会会議を始めます。 本日の会議録署名委員は、小笠原委員にお願いします。
教育長	会議録の承認についてです。 9月27日分について、何かお気づきの点がありましたでしょうか。
全委員	無し。
教育長	「無し」とのことですので、承認とさせていただきます。
教育長	それでは、次に報告事項をお願いします。報告の(1)と(2)について事務局より説明をお願いします。
学校教育課長	(「花岡小学校の第48回博報賞【教育活性化部門】受賞について」を、資料により報告)
生涯学習課長	(「第27回大館市生涯学習フェスティバルについて」を、資料により報告)
教育長	以上2件の報告について、質問やご意見等ありませんか。
委員	花岡小学校の受賞は本当にうれしいことです。学校の課題解決のため、全校態勢で一年一年、丁寧に積み重ねてこられた実践の成果が高く評価されたものだと思います。訪問させていただく度に驚くことがたくさんありました。皆さんとともに改めて称賛したいと思います。ところで、今週と来週、今年度の学校訪問をさせていただきます。前半の訪問が終わりましたが、この度の朗報と重なりあうようなことを感じましたので、そのことに関連してお話ししたいと思います。学校訪問では、概して若手の先生たちが子どもたちの学びを広め深めようと意図している授業に励んでおられることが伝わってくる教室が多かったように感じました。それからもう一つこの度の学校訪問では、浦河町の方々とご一緒出来たことも大変うれしく思いました。大館市の教育実践をお褒めいただいたと思っております。また、社会教育委員の皆さんや生涯学習課長さんとご一緒出来たことも嬉しく思っております。さて、先ほど申しました朗報と重なりあうということについてです。小学校2校で全クラスの授業を見せていただきました。どちらの学校にも共通していたのは、花岡小学校の実践を学びながらも主体的で対話的な学びに迫る手立てを、自校のこれまで積み重ねてこられた実践を基に、それを授業改善の柱として指導の工夫を重ねておられるという点でした。本当にそのことを強く感じま

教育長	<p>した。各学校の児童生徒の実態に即した指導の現場を見せていただきました。共感し合い触発し合って学びを深める子どもたちや先生たちの姿を拝見し、さながら「学びの道場」に私たちもいさせていただいたと振り返っております。また、もう一つ嬉しかったことは、その指導の教室に教育専門官や授業マイスターの先生たちが若手の先生たちとペアで、いい意味での緊張感のある授業を見せていただいたことです。とても印象に残っています。この度の訪問計画に感謝したいと思います。来週の訪問も期待しております。各学校が互いにあるいは花岡小学校などに触発され、研修をして地道な実践をしていくことを今後とも期待したいと思います。</p> <p>ありがとうございます。他に何かありますか。</p>
委員	<p>先日の学校訪問で浦河町の教育長さんが社会教育委員も一緒に訪問することを大変驚かされていました。他の学校の方がそのような関心を持たれた事で、全体で一丸になって教育に向かい子どもたちの成長をみんなで支えていくという大館市の教育に対する考え方の素晴らしさを改めて感じました。</p>
委員	<p>私も感想を述べさせていただきます。初めて教育委員として学校訪問をさせていただきました。今までの保護者としての授業参観とは違った面をみる事ができました。先生皆さんが同じベクトルをもって子どもたちのために進んでいることを強く感じた学校訪問でした。教育委員としての学校訪問以外にも、授業参観で一時間を通して見せていただく機会をたくさん作っていただき我々も本当に勉強になりました。大館の素晴らしい教育をもっと広めていかなければという気持ちを強くしました。来年度以降もこのような機会を作ってください、私も勉強させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
教育長	<p>他に何かありますか。</p>
委員	<p>学校訪問の前半が終わった部分についての感想です。まず始めにこれまで拝見させていただいた学校すべてで「知」が共同化、共有化されているということを感じました。個の「知」ではなく、グループやクラス全体が「知」を共同化、共有化する、そして積み上げていくという実践がすでに始まっています。アクティブラーニングの基本がそこにあるのではないか、技術論やむずかしい技法はその上に初めて成り立つのであって、基礎がすでに大館の場合はあるのだということを今回強く感じました。言ってみるならば、「知」が骨肉化していると思います。「知」が剥落するのではなく、骨になり身になってきているそのような現状が大館にはあるのだということを強く意識しました。実は今日、ある学校に行ってきました。一年生の授業で先生が発表を求め手を挙げた子が答えられませんでした。そこでクラス全体から「がんばれ」の声が上がりました。その言葉を聞いた時、心が熱くなりました。そのようなことが一年生で普通に出てくるように育てている、そこには六年生に</p>

	<p>なるまでの基礎がすべてあるように感じました。「知」もそうですが「情」や「徳」も共有化されつつあるように強く感じました。先生たちの授業の技法も進化しているように感じました。ある学校では、子どもたちが自分の言葉で話し出し、それがクラス全体で共有されているところを見ました。このような形で「学び」が深くなり、「知」が深くなり、共同化、共有化されていくということが大館の基礎になり、それが全体のレベルアップ、ボトムアップに繋がっていると感じました。ある先生から「学び合いのある所にいじめはない。」という言葉を見ました。大館はまさしくすべての学校で学び合いが実践されていることを今回の学校訪問で強く感じました。</p>
教育長	<p>秋田県全体が探求型という授業形態です。いわゆる「課題」や「目当て」を設定し、それに向けて全体でという形です。大館の特色は今お話があったように、「共感的人間性」が小学校一年の段階から染み込んでいることだと思います。委員がご覧になったのは「がんばれ」ですし、私が見たのは「どんまい」でした。本当に暖かいと思います。それがあるので「学び合い」という活動ができます。県の中央や県南も探求型でやっていますが、「学び合い」は大館の特色だと思います。大館を中心に広がってきています。これが新指導要領の主体的、対話的な学習という部分だと思います。「学び合い」とはまさにそれを具現化しているものだと思います。改めてそれが大館の特色であるということのを他と比較することで実感しています。今後の大館の課題は、「深い学び」というものをどのようにとらえ、どのようにアプローチするかということで、校長会でもお話ししました。また、委員のお話しされたように、私達は社会教育委員の方たちと一緒に何年も前から学校訪問を行っていますので当たり前のように感じていました。他の市町村ではあり得ないことのようにです。また、12月7日には市議会議員の方たちに花岡小学校と桂城小学校を見ていただきます。このように当たり前のように広がっていく、これも大館の特色だと感じています。</p>
教育長	<p>他に何かありますか。</p> <p>(「無し」の声あり)</p>
教育長	<p>無いようですので、議事に入ります。協議第20号と協議第21号について事務局より説明をお願いします。</p>
生涯学習課長	<p>(協議第20号大館市就業改善センターに関する条例の一部を改正する条例案を、資料により説明)</p>
中央公民館長	<p>(協議第21号大館市北地区コミュニティセンターの指定管理者の指定についてを、資料により説明)</p>
教育長	<p>協議第20号と協議第21号について、ご意見、ご質問等ありますか。</p>

	(「無し」の声あり)
教育長	質疑等無いようですので、協議第20号と協議第21号を承認してよろしいですか。
全委員	異議なし。
教育長	協議第20号と協議第21号を承認します。
教育長	次に協議第22号について事務局より説明をお願いします。
各課・館長 ほか	(協議第22号「平成29年度大館市一般会計補正予算(第7号)案」を、資料により説明)
教育長	協議第22号について、ご意見、ご質問等ありますか。
委員	小学校費、中学校費で教育振興費の扶助費が増えています。これはこの先も増えることが見込まれるのでしょうか。
学校教育課長 補佐	現段階で確認し、当初予算から見て例年並みの見込みを立てたところこの補正額となったものです。
委員	ここにきて増えたということではないのですね。
学校教育課長 補佐	増えたということではなく、例年12月補正予算で残り3か月の見込みを立て予算要求しています。また、前回ご説明した入学準備金の部分がありますので例年よりは多くなっています。
委員	分かりました。
教育長	他に何かありませんか。
委員	小学校、中学校の消耗品費に関してのお願いです。学校訪問をさせていただいたときに感じたことです。黒板に印刷ものを掲示する際、印刷費のことを考えA3の紙を使わざるを得ないケースが結構あるようです。A3の紙だと後ろの子どもに訴求力がありません。見えづらいです。そこで大きいプリンターがないのか先生に伺いました。すると、「実は大きいプリンターはあるがロール紙やインク代が結構かかるので。」というお話で、非常に気を使いながら使用されているようでした。先生たちも一時間のためにこれを使っているものかと苦勞されているようでした。しかし後ろから見ていると見えないときがありますので、そのような所であまり先生たちが気を使わなくてもいいようにご配慮いただきたいと思います。確かに電子黒板やプロジェクター

	<p>がありますが、紙を使うケースがたくさんあると思います。ぜひそういった部分でお力添えいただければと思います。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>そのようにしたいという思いは強く持っています。</p>
<p>教育長</p>	<p>他に何かありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>予算の事ではありませんが、ここでお話ししたいことがあります。前回、入学準備金の前渡しについて大変ありがたいとお話ししましたが、昨今、話題になっている「リユース」についてです。近隣の市町村では実行しているところがあるようです。お金もさることながら、あまり回数を使わない教具をリユース出来ないものかと思えます。毎年のことですのでそのような仕組みがあればだいぶ助かるのではないかと思います。例えばアルトリコーダーや柔道着などです。窓口はどこになるか分かりませんが、どこかでできないものかと思っています。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>エコプラザでそのような橋渡しをしているはずですが、ただ、あまり周知されていない可能性がありますので、もっと働き掛けをしなければと思います。</p>
<p>教育次長</p>	<p>現在、エコプラザで市民の方に呼びかけてスキーやスキー靴を引き受け、必要な方にお譲りするというのを、市のホームページや広報で周知しながら進めています。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>補足です。今年度チラシで各小中学校に通知しましたので、広がっていけばと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>分かりました。出来るだけ広がっていくようよろしくお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>関連して、スキーについてです。学校によっては独自にリースという取り組みをされているところがあります。実は先月まで、有浦小学校の児童が私の家に1カ月間ホームステイをしており、長木小学校と有浦小学校のいろいろな配布物を比べる機会がありました。その中でリースという取り組みは非常にいいと思いました。これをもっと市内の学校に広げてはどうかと思います。スキーは背が伸びる度に買わなければいけません。しかし、お金がかかるからと言ってこの地域でスキー授業が体育の科目から消えるのは良くないと思います。ですから、少しでも保護者の負担を減らしていただけるような取り組みが必要ではないかと思っています。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>分かりました。</p>

教育長	他に何かありませんか。
委員	先々月、市の子ども課から、子どもがいる世帯の経済状況に関するアンケートが来ました。この結果を教育委員会でシェアということは無いのでしょうか。小中学校へのアンケートでしたので、何か情報をお持ちでしょうか。
学校教育課長	今年度立ち上がった貧困対策の委員会からのアンケートだと思います。教育委員会ではその委員になっていませんが、その情報をいただくよう働きかけたいと思います。
委員	かなり細かく深いアンケートでしたので、今後の教育行政において非常にいい資料になると思います。ぜひ働き掛けをお願いします。
学校教育課長	分かりました。
教育長	子ども課へ働き掛け、データをいただいて教育へ活かしていきたいと思えます。
委員	分かりました。よろしくをお願いします。
教育長	他に何かありませんか。 （「無し」の声あり）
教育長	質疑等無いようですので、協議第22号を承認してよろしいですか。
全委員	異議なし。
教育長	協議第22号を承認します。
教育長	その他に入ります。何かありましたら発言願います。
スポーツ振興課長	（「東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致に向けたタイ王国訪問について」を、資料により説明）
教育総務課長	（「ニプロハチ公ドームコンサートの開催に向けた進捗状況について」を、口頭により説明）
教育長	（「10年の意識変化について」を、資料により説明）
教育長	これについて何かありますか。

委員	先日、国際情報学院の図書館主催で、講座がありました。まちづくり課の方が歴史を踏まえたまちづくりの施策について説明されていました。その中で、先ほどご説明のあった高校生の意識調査のことが出ました。それを見た時大変うれしく思いました。
委員	関連です。これは確かにすごい数値だと思います。ふるさとキャリア教育の成果だと思います。学校で物事を多面的にみることを学んでいる結果だと思います。解はあるけれども解に至る道は出来るだけ子どもたちに考えさせようとしています。それが、物事を一つの面からではなく、いろいろな面からみると、いろいろなものが見えるということ子どもが気づき始めているそういう成果だと思います。今まで何とも思っていなかったふるさと大館のまちが見方を変えたらこんなにいいまちだといいいことを学習やふるさとキャリアで勉強し始めているからだと思います。ふるさとキャリアの恩恵でもありますが、それが学習の中にも活かされていることは強みだと思います。大館の場合は、ふるさとキャリアと学習がある意味「リンケージ」されていると思います。「パッケージ」になっています。ふるさとキャリアだけの勉強ではなく学習に入ってきています。それは子どもたちの見方なり見え方なり学習の仕方をどんどん変えていっているという一つの成果だと思います。
教育長	同じ風景を見ていてもそこに意味や価値を見出している子どもたちがいるということだと思います。まちが変化したのではなく子どもたちの能力と意識が変化したということではないでしょうか。
委員	そう思います。
委員	うれしいことです。
教育長	他に何かありますか。
教育総務課長	(次回の開催日程について)
教育長	他に何かありませんか。 「無し」の声あり。
教育長	これを持ちまして教育委員会会議を終了いたします。
会議終了時刻 午後4時40分	